

後期基本計画基本施策別一覧表

基本施策4 観光の振興	めざす まちの姿	最大の観光資源である豊かな森林資源と発酵のふるさと、日本酒発祥の地など、宍粟市特有の地域資源を生かしたまちの魅力づくりによって、関係人口・交流人口が拡大し、観光産業のみならず地域経済全体で雇用創出が図られるなど、観光が森林、文化、産業と融合し、地域が活性化し賑わいのあるまちをめざします。
--------------------	---------------------	--

現状	課題	個別施策の方向性 【(★)は総合戦略に関連する取組】	主な取組	主な取組に対する具体的内容の例示
<p>◇近年の宍粟市への観光入込客数は年間120万人前後で推移しており、そのうち日帰り客が大半を占めています。</p> <p>◇しそ森林王国観光協会との連携や森林管理署、地域、個人や団体との調整により、森林セラピーの推進、日本酒発祥の地、発酵のまちづくりのPRを展開しています。</p> <p>◇フェイスブックやアンテナショップでのPRのほか、都市部や播磨地域のイベント等で特産品や観光地のPRをしています。</p> <p>◇道の駅や店舗への宍粟材で製作した自転車ラックの設置や連携中核都市圏域事業を通じた宍粟市のサイクリングコースの設定、サイクリングイベント等を実施しています。</p> <p>◇官民連携により、関係・交流人口の拡大に向けて、市北部地域でのアウトドア観光を中心とした観光の振興に着手しています。</p> <p>◇江戸後期以降の酒蔵や町家が並ぶ山崎町山崎地区が令和元(2019)年11月に県の歴史的景観形成地区に指定され、令和3(2021)年7月には、当該地区にある中門前屋主屋が国の登録有形文化財に指定されるなど、市内の文化財における観光価値が高まっています。</p>	<p>観光プラットフォームの拠点となる観光ステーションの設置、また、市内を循環しながら繰り返し訪れてもらえる地域資源を活用したコンテンツづくりが必要</p> <p>周辺自治体と連携した広域による観光ルートづくりが必要</p> <p>宍粟ならではの体験など、地域資源を活用したコンテンツが必要</p> <p>宍粟ならではの体験など、地域資源を活用したコンテンツが必要</p> <p>森林セラピーとカヌー体験など観光とスポーツのセット、団体・企業向けのプログラム開発が必要</p> <p>地域住民との交流など、地域資源を活用したコンテンツが必要</p> <p>宍粟ならではの体験など、地域資源を活用したコンテンツが必要</p> <p>周辺自治体との連携した広域による観光ルートづくりが必要</p> <p>日帰り客が大半を占めている。地域住民との交流など、地域資源を活用したコンテンツが必要</p> <p>宍粟ならではの体験など、地域資源を活用したコンテンツが必要</p> <p>近隣を中心に多様な媒体を活用した魅力の効果的な発信が必要</p>	<p>① 観光資源の有効活用(★) 観光地としての魅力向上と国内外からの誘客を図るため、観光施設の機能強化とネットワーク化を推進します。</p> <p>② 体験型ツーリズムの推進(★) 豊かな森林や美しい農村景観など宍粟市ならではの地域資源を生かした体験型観光を推進します。</p> <p>③ 観光客受入体制の充実(★) 観光事業を担う人材の確保及び育成を行うとともに、集客向上に向けた取組を展開します。</p> <p>④ 魅力の発信の強化(★) 知名度向上と観光集客力の強化のため宍粟の魅力の効果的・戦略的に発信します。</p>	<p>①-1 「ふるさと宍粟観光ステーション」の設置や市内に点在する観光施設とのネットワーク化に取り組むとともに観光施設等の機能強化や自然資源を生かしたアウトドア観光の拠点となる施設の整備などにより観光客の誘客を図ります。</p> <p>①-2 観光バスの運行ルートや駐車場の確保等、自動車による観光がしやすい環境づくりを行います。</p> <p>①-3 「日本酒発祥の地」「発酵のふるさと」をキーワードに、「食」や地域の歴史・文化を観光資源として生かすとともに、特産品ブランド認証制度の積極的なPRを含め、観光地としての魅力向上を図ります。</p> <p>②-1 地域資源を生かし、50名山や音水湖におけるカヌーなどでの自然体験や地元の農業体験と宿泊を組み合わせたツアー構築、たたら製鉄、産業遺産、発酵、日本酒づくりをテーマにした観光など、観光ニーズの変化に対応した新たな取組を推進します。</p> <p>②-2 歴史・文化の面で宍粟市と共通するテーマを持つまちとの連携により、観光客の誘致につなげます。</p> <p>②-3 森林セラピーとその他の体験の連携などグリーンツーリズムの充実を図ります。</p> <p>③-1 しそ森林王国観光協会の運営や事業展開への支援を通じ、観光ガイドや参加・体験メニューの指導者・協力者など観光振興を担う人材の育成・支援及び地域活動団体との連携や、観光受入体制の充実を図ります。</p> <p>③-2 観光関連事業者・団体と農林業、飲食業、商工業など異業種連携及び地域との連携体制づくりを推進します。</p> <p>③-3 インバウンド獲得に向け、市内事業者との連携及び他自治体との広域連携などの取組を推進します。</p> <p>③-4 市民の参加による民泊を促進し、滞在型観光の充実を図ります。</p> <p>④-1 市内の観光資源と日本酒発祥の地といわれる庭田神社などの文化財や歴史を効果的に結びつけ、総合的、戦略的な観光プロモーションを展開します。</p> <p>④-2 県や近隣市町、関係機関と連携し、はりま酒文化ツーリズム事業などの広域的な観光事業を推進します。</p> <p>④-3 地域の観光魅力の情報を市民と共有し、SNS等を通じた口コミによる観光プロモーションを推進します。</p>	<p>観光プラットフォームの充実のための「ふるさと宍粟観光ステーション」の整備、観光情報のネットワーク化による市内周遊の促進 アウトドア観光の拠点整備、道の駅や宿泊施設など観光施設の改修や機能強化、自然資源を生かした新たな観光地づくり</p> <p>観光客が自由に観光できる定額運行タクシーやオンデマンドタクシー等を調査・研究し観光しやすい仕組みの構築、イベント等における駐車場の確保及び整備</p> <p>発酵メニューを市内店舗に展開し、酒造りに重要な宍粟の名水や豊かな水を育む森林のPR、日本酒と発酵を合わせたイベントの開催、特産品ブランド認証品のPR</p> <p>シャワークライミング体験ツアー、東山や氷ノ山登山ツアー、音水湖カヌー体験、森林セラピー体験、スキー、陶芸や藍染体験</p> <p>宍粟市の歴史や文化と関係のある他市町との連携による観光推進、全国発酵のまちづくり推進協議会やセラピー基地ネットワーク協議会に加盟している団体との連携</p> <p>森林セラピー等の企業向けプログラムの開発、森林セラピー・シャワークライミング・音水湖カヌー体験等観光とスポーツをセットにした体験型ツアーの開催</p> <p>観光関係事業者等を対象とした観光地域づくりミーティングの開催、森林セラピーガイドの支援、まち歩きガイドの支援、たたら里ちくさガイドの会への支援、ちくさ高原スキー場における人工降雪機の増設</p> <p>特産品を通じて宍粟市のPRイベントを開催、発酵のまちづくり推進協議会を設置し市内事業者等と連携した発酵メニューの開発等</p> <p>赤西溪谷、不動滝、氷ノ山などの自然資源と日本酒、宍粟牛との組み合わせなどを紹介し、ターゲットとする外国人観光客についての調査・研究、外国人観光客を受け入れる市内事業者を対象とした研修会の開催(広域連携含む)</p> <p>農業体験ができる農家民泊と森林セラピー体験等と組み合わせ自然資源を生かした宍粟ならではの滞在型観光の構築</p> <p>日本酒発祥の地「庭田神社」、たたら遺跡などの歴史と観光地をめぐるモデルコースをPR、たたら製鉄を体験できるイベントの開催</p> <p>阪神間でのPR(R1年度、西宮市)、たつの市民まつりでのPR、観光ホームページ「西播磨遊記」でのPR、姫路市に設置した宍粟市PR館でのPR、県と連携した山城のPR、はりま酒文化ツーリズムを通じて日本酒発祥の地をPR</p> <p>藤まつりやもみじ祭り等で来場者にSNSを通じて写真等の拡散の呼びかけ</p>

まちづくり指標	指標名	単位	現状値(R2実績)	目標値(R8)	数値の出所(算出方法)	目標値設定の考え方
	観光入込客数	千人/年	979 (R1実績値)	1,165	「兵庫県観光客動態調査」による	人口減少に伴い観光客が減少する中、第2次総合計画の初年度である平成28年度実績まで増加させることを目標とする。
	道の駅利用者数	千人/年	422 (R1実績値)	441	それぞれの道の駅からの年間事業報告	人口減少に伴い観光客が減少する中、第2次総合計画の初年度である平成28年度実績まで増加させることを目標とする。
	森林セラピー体験者数	人	597 (R1実績値)	3,000	担当課保有の管理台帳	令和5年度までに1,000人、令和8年度に3,000人を目標とする。

	計画名	計画期間
個 関 別 連 計 す 画	ふるさと宍粟の観光基本計画	H29～R3

統計等数値
●入込観光客数(千人) : (H24)1,202、(H25)1,275、(H26)1,217、(H27)1,276、(H28)1,165(H29)1,062 ●宿泊有無別入込観光客数(千人) 宿泊客 : (H24)88、(H25)89、(H26)88、(H27)92、(H28)85、(H29)76 日帰り客 : (H24)1,114、(H25)1,186、(H26)1,129、(H27)1,184、(H28)1,080、(H29)986 ●(H29)目的別割合 : 自然7.3%、歴史・文化2.2%、温泉・健康29.2%、スポーツ・レクリエーション16.1%、都市型観光(買物・食等)0.0%、行祭事・イベント6.5%、その他38.8%